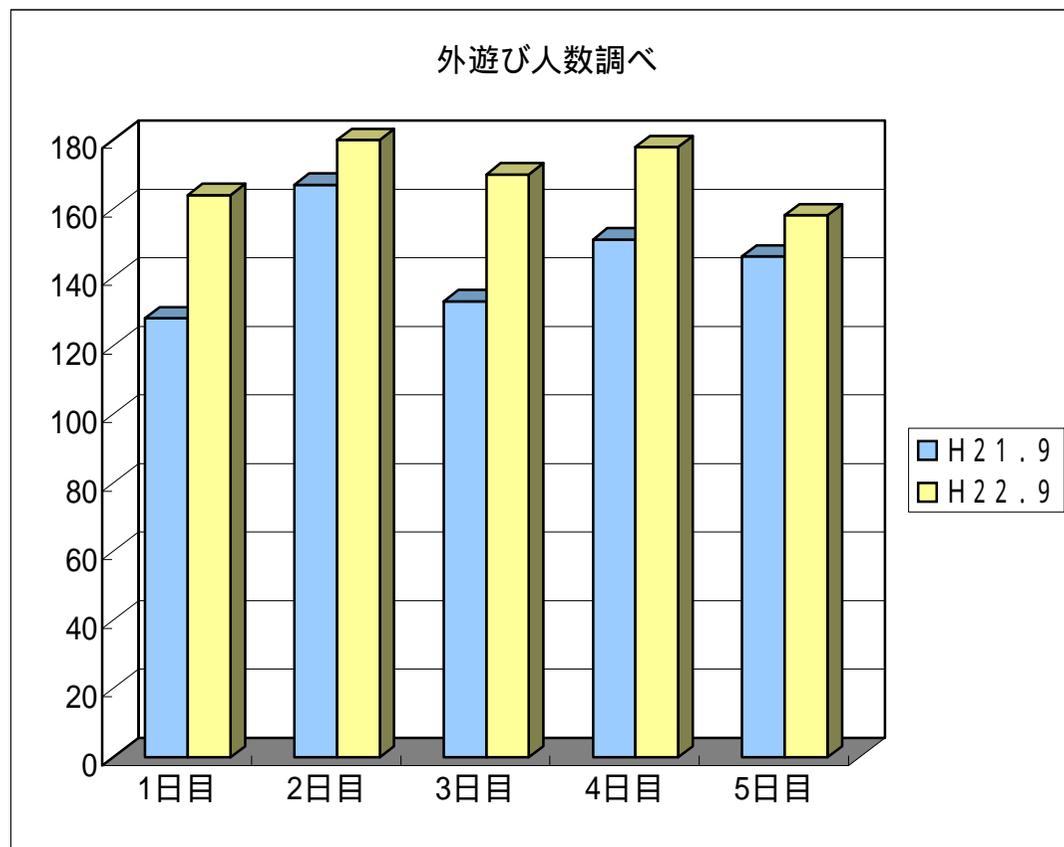


【参考資料1 休憩時間調査結果】

休憩時間に外遊びをしている児童数の調査を行い、同時期の9月の人数を比較した。(任意の5日間を調査し、比較を行った)

	H21.9	H22.9
1日目	128	164
2日目	167	180
3日目	133	170
4日目	151	178
5日目	146	158
合計	145	170
割合	33.9%	39.7%



外遊びをしている児童がどのような遊びをしているか調査を行った。

9月調査結果

キャッチボール・鬼ごっこ・ボール鬼・サッカーゴールへのPK遊び・バレーボール・ドッジボール・虫とり・手打ち野球・的当て・その他遊具遊び(シーソー・タイヤ跳び・のぼり棒・ブランコ・ジャングルジム・うんてい 等)

21年度と22年度を比較すると数値的には、大きな伸びとは言えないもののH22年度は、残暑が厳しく9月に入っても気温が30度を超える暑さであり、なおかつ運動会が9月末に行われる(H21は、6月に実施)ために、児童は、連日、運動会の練習が続いている中での休憩時間であることを考えると、芝生化の効果を感じられる。
また、遊びの種類をしてみると前年度は、グラウンド周辺部の遊具で遊ぶ児童が多く、グラウンドを広く使って遊ぶ児童が少ない状態であったが芝生化により、遊びの種類も増え、グラウンド全体を使って遊んでいることがうかがえる。